主な受賞者の紹介

1　創意工夫ある教育活動により、顕著な成果をあげた者

〇稲沢市立稲沢西小学校　教諭　木村（きむら）　和久（かずひさ）　（名簿番号　１２）
【教職員表彰】

「現職教育で職員にアドバイスする木村教諭」

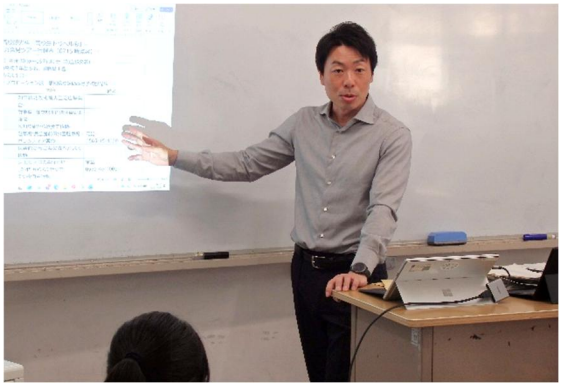
誠実な人柄であり、何事にも全力で取り組んでいる。児童や教職員に対して、積極的に声掛けを行ったり、教職員からの相談にも親身になって応えたりすることから、大変信頼が厚い。また、教務主任として校内現職教育で、児童の学力向上と教員の授業力向上を計画的に進めている。2015年度、文部科学省主催の子供の体力向上指導者養成研修（東ブロック）に、愛知県代表として参加し、研修後、講師として愛知県内の教員を対象に講習を行った。また、2013年度から2017年度まで、稲沢市教育課程編成委員会体育部会の委員を務めるなど、保健体育教育の充実・発展のために尽力している。論文についても、愛知県教育委員会主催の2022年度あいち教育賞に「主体的に体育科学習に取り組む児童の育成」をテーマに応募し、佳作に入賞した。

〇愛知県立津島高等学校・附属中学校　教諭　大谷（おおたに）　暁子（あきこ）　（名簿番号　７４）
【教職員表彰】

「生徒に英語で語りかける大谷教諭」

国際探究科新設にあたり、中心的な役割を果たすとともに、学校全体の探究活動の基盤形成に尽力するなど、学校の理念実現に大きく寄与してきた。英語科教員として、2017 年度に英語教育推進リーダー研修を修了し、教員研修講師を務め、英語教育の後継者育成に取り組んだ。国際交流では、2017 年度の JENESYS 学生派遣や 2022 年度の愛知県・バンコク都高校生交流事業引率などの海外研修から得た知見を活かし、姉妹校提携や海外とのオンライン交流、留学生受け入れ体制構築などを進め、国際理解教育の質的向上を図った。さらに地域連携活動では、ボランティア部顧問として学校と地域を結ぶ役割を果たし、ボランティア・スピリット・アワードや愛知県ボランティア活動功労者の団体表彰につなげた。加えて地域探究における生徒プロジェクトチームを指導するなど、複数の分野で活躍している。

愛知県立足助高等学校　教諭　熊崎（くまざき）　紀文（のりふみ）　（名簿番号　８０）
【教職員表彰】



「観光科において実践的な学びを推進する熊崎教諭」

本校における探究活動及び観光教育の中核を担い、卓越した指導力を発揮している。2021 年度には、本校が実施する旅行企画・手配・観光案内を伴う教育活動のブランド化を推進し、「高校生トラベル」の商標登録を主導した。その後も、豊田市内小学校の歴史学習のプロデュース、東京都内高等学校との PBL 型修学旅行交流の実現、市民を対象とした地域魅力発見ツアーの造成など、先進的かつ実践的な観光教育を継続的に展開してきた。これらの取組は高く評価され、2025 年度には「第９回ジャパン・ツーリズム・アワード」において観光庁長官賞受賞の原動力となった。現在は、2026 年度に県立学校として初めて設置された「観光科」において中心的役割を担い、地域資源を活用した実践的な学びを推進するとともに、産学官連携による先導的な教育活動の構築に尽力している。

２　使命感を持って教育活動の改善に取り組み、信頼が厚い者

○清須市立新川小学校　養護教諭　境（さかい）　志穂（しほ）（名簿番号　１６）
【教職員表彰】

「分かりやすく歯磨き指導をする境養護教諭」

日常の保健室経営、児童生徒の心身の健康保持・増進に献身的に取り組み、他の教員の模範となっている。毅然とした対応の中にも寄り添いの姿勢を大切にし、児童が安心して相談できる存在であり、そこで得た情報を管理職や担任等と共有することで、課題の早期発見、早期対応、未然防止に大きく寄与している。

2023、2024 年度には、県の研究委嘱（公益財団法人日本学校歯科医師会）「生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業」において、研究主任として研究運営の中心的な役割を果たし、第 64 回全日本学校歯科保健優良校表彰での奨励賞に貢献した。個人としても、愛知県学校歯科保健研究大会での研究発表、西春日井地区教育論文優良賞等、熱心な研究の取組により成果を収めている。

また、西春日井地区の他の養護教諭からも頼られる存在であり、2026 年度は西春日井地区の養護教諭の代表を務め、その専門性を校内外で発揮している。

○弥富市立桜小学校　教諭　伊藤（いとう）　達也（たつや）（名簿番号　２０）
【教職員表彰】

「特別支援学級の児童に朗らかに関わる伊藤教諭」

特別支援教育について造詣が深く、愛知教育大学附属特別支援学校で学んだ経験や知識を生かし、本校の特別支援教育の充実をめざし、使命感をもって業務に取り組んでいる。特別支援教育コーディネーターとして、校内研修を積極的に実施し、本校の特別支援教育の構築と所属する教職員の資質向上に大きく貢献している。就学前の教育相談では、不安を抱える保護者に親身に対応し、必要な支援の長期・短期的な見通しをもたせることで、安心して入学できるよう助言している。特別な支援を要する児童に対しても、常に励ましの声を掛けたり一緒に汗を流して遊んだりし、児童との関わりを大切にしている。教職員には、児童の特徴を適切に捉え、指導方法を一緒に考えながら指導助言を行っているため、教職員からの信頼が厚く、学校運営の中心となり活躍している。

また、教務主任として、学校運営の全体を見通すことができ、学校全体の教育活動を把握し調整する能力も高く、迅速で的確な仕事ぶりである。教職員の資質向上を目指し、学校運営の要となる存在として活躍している。安定した学校運営に寄与し、保護者、児童、教職員からの信頼も厚い。

○愛知県立南陽高等学校　教諭　牧野（まきの）　隼弥（じゅんや）（名簿番号　７１）
【若手教職員等奨励賞】

「総合学科の取組を生徒に説明する牧野教諭」

常に学校全体を見渡し、生徒の成長と学校の発展を第一に考え、新たな取組を積極的に進めている。総合学科推進部主任として、地域の企業・団体が提示する課題について生徒が解決策を考え、提案する探究活動を企画・運営している。今年度は連携先を大幅に拡大し、地域社会や産業界と深く関わる学びをさらに充実させた。また、ネットワーク担当としてＩＣＴ環境の整備やＤＸ化を進めるとともに、ホームページやＳＮＳ、デジタルパンフレットを活用した情報発信や中学校への広報活動にも尽力し、総合学科の魅力向上と地域に開かれた学校づくりを推進している。さらに、愛知県高等学校文化連盟放送専門部長として県内の放送部活動の発展にも貢献している。

幅広い分野で関係者との調整を丁寧に重ねながら、地域との連携を広げ、生徒の成長と魅力ある学校づくりに大きく貢献している。

○岡崎市立甲山中学校　主査　畔柳（くろやなぎ）　貴子（たかこ）　（名簿番号　９２）
【教職員表彰】

「常に丁寧に対応する畔柳主査」

常に笑顔で丁寧に対応する姿が職員に安心感を与え、職場の雰囲気を温かなものにしている。また、周囲に対し常に謙虚で、堅実な仕事ぶりから、誰からも信頼を得ており、学校事務職員として学校運営を十分に支えている。

岡崎市では共同学校事務室第１ブロックの室長としてきめ細やかなブロック運営を行っている。また、学校事務の研究の先頭に常に立って、愛知の学校事務等の方向づけを行いつつ、全国へとその活動の場を広げ、事務職員の在り方等についての研究の一翼を担っている。

2024年度東海地区公立小中学校事務研究会研究部長、2025年度全国公立小中学校事務職員研究会理事を歴任し、事務職員の校務運営への参画を進めるとともに、事務職員全体のスキルアップを図っている。誠実な対応や堅実な仕事ぶりから、校内の職員はもちろん、市内事務部員からの信頼も厚い。

３　地道な教育活動を継続して行い、他の模範となる者

○田原市立田原中部小学校　教諭　上田（うえだ）　幸輝（こうき）（名簿番号　４０）
【教職員表彰】

「現職教育で職員に指導する上田教諭」

強い情熱と信念をもって教育活動にまい進し、複数の研究指定校で理科教育や進路指導の研究推進に尽力している。教務主任として、異校種連携やキャリア教育の推進に手腕を発揮し、地域の特性を生かした学校運営の推進に貢献している。

2010 年度から２年間教育研究員として理科教育の研究に励み、その研究の成果について、三河地区での研究発表会で実践発表を行った。

また、前任校では陸上競技部監督を務め、県中学校駅伝大会男子の部での優勝、および全国大会出場という輝かしい実績へと生徒を導いた。2021 年度からの２年間は、教科等指導員（理科）として、市内で行う理科研究授業で、指導助言を行うなど活躍した。

2025 年度からは、教務主任として自校の現職教育において地域の特性を生かした特色ある教育（夢育）に取り組み、キャリア教育を推進している。

〇愛知県立名古屋特別支援学校　教諭　松岡（まつおか）　祐一（ゆういち）（名簿番号　８７）
【教職員表彰】

「ＩＣＴを活用して授業をする松岡教諭」

誠実かつ明朗な人柄で常に自己研鑽に励み、様々な教育活動に真摯に取り組んでいる。特にＩＣＴ活用に精通しており、オリジナル教育アプリの開発をはじめ、ユニバーサル野球やデジタル絵本など、新たな教材や手法を積極的に授業へ取り入れることで、一人一人の児童の能力や可能性を引き出す実践を重ねている。

2024 年度からは株式会社デジリハとの協働による「デジリハ for スクールプロジェクト」の主務者として計画立案し、2025 年度からの３か年研究では、センサーやデジタルツールを活用した授業の教育的効果に関する研究を推進している。

また、今年度はあいち教育賞（教育研究論文部門）への応募や認定ＡＢＡセラピスト資格の取得に挑戦するなど、高い向上心と学び続ける姿勢を有している。自立活動主任として、これまでの研鑽や実践から得た知見を教職員へ還元し、校内の専門性向上にも貢献している。温かな人間性と探究心を兼ね備え、子どもたちの可能性を広げる教育実践を牽引する教員である。